

2013年度 新人オリエンテーション



当院の新入職員を対象に、3月28日～30日の3日間にわたり導入研修を開催しました。様々な講義や研修を通じて社会人、医療人としての心構えを再認識しました。どうぞよろしく申し上げます。

【理念】キリスト教精神に基づく「隣人愛」
【経営方針】この地域にしっかりと根ざし、住民に信頼される病院づくり

社会福祉法人 聖隷福祉事業団
医療保護施設・地域医療支援病院

総合病院 聖隷三方原病院

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL



聖隷三方原病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成しています。

おしらせ



就職説明会・看護体験研修のお知らせ

聖隷三方原病院に就職をお考えの看護学生の皆さまを対象に、看護師・助産師の就職説明会と看護体験研修を行います。

開催日：5月18日(土)、6月15日(土)、7月20日(土)

会場：聖隷三方原病院内(申し込みいただいた方には、別途会場のご案内をさせていただきます)

内容：就職説明会(開催日の午前9:00～12:00)
看護体験研修(開催日の午後13:00～15:30)

持ち物：筆記用具、靴(ナースシューズまたは白いスニーカー)、
印鑑

服装：軽装、清潔感のある服装でお越しください。

その他：昼食はこちらでご用意いたします。

詳しくは当院ホームページをご覧ください。

http://mikatahara-ns.net/?page_id=55#1

お申込み・お問い合わせ

TEL、E-mailにて下記担当者宛てにご連絡ください。

聖隷三方原病院 総務課 担当：奥川・山田・鈴木

TEL：053-439-9050(直通)

E-mail：mkwebmaster@sis.seirei.or.jp

「みどりの通信」へのご意見、ご感想をお待ちしております。

皆様からお寄せいただいたご意見・ご感想を今後の誌面作りの参考にさせていただきます。

e-mail：mkwebmaster@sis.seirei.or.jp FAX：053-438-2971 みどりの通信編集部

放課後等デイサービスを始めました

2013年4月より、聖隷おおぞら療育センターの児童通所部門「児童発達支援センターひかりの子」で、特別支援学校に通う児童生徒を対象とした放課後の時間と休日の時間にサービスを提供する「放課後等デイサービス」を始めました。医療的ケアのある重症心身障害児を主な対象として、1日の利用定員5名で行っております。

がん患者さんのための おしゃべり会「じゃがいも」

同じ病気を抱えている患者さんといっしょにお話してみませんか？
おしゃべり会はみなさんで体験をわかちあい、支えあう会です。

日時：5月23日(木) 13:30～14:30

場所：聖隷三方原病院 管理棟2階 第7会議室

対象：がん患者さんご家族

お問い合わせ：よろず相談地域支援室

浜松がんサポートセンター

TEL：053-439-9047



患者さんのための「医学情報プラザ」ご案内

医学や健康に関する書籍、一般書籍合わせて約1,000冊を所蔵、ビデオ、インターネットもご利用いただけます。

絵画展なども随時開催しています。ぜひご利用ください。

開館日：月～金曜日(祝日を除く)

開館時間：10:00～16:00

栄養課通信 5月

地産地消～静岡県の食材～ 桜海老

桜海老の漁獲量は静岡県中東部に位置する駿河湾が90%で、4月から6月が旬の季節です。

桜海老にはカルシウムやマグネシウム、鉄、銅、亜鉛やタウリンに加えEPA、DHAなど重要な栄養素が含まれています。EPA、DHAはコレステロールを下げる効果があり、動脈硬化など生活習慣病の予防になります。

桜海老は殻などまるごと食べられるため、色々な栄養素を残さず摂取することができます。生桜海老を手に入れやすい静岡県民ならではの料理です。ぜひ、この時期にお試ください。

簡単！旬のレシピ

沖あがり ～漁師が食べたすき焼き風～

4人分

生桜海老150g
豆腐300g(1丁)
葉ねぎ適量
醤油大さじ4
砂糖大さじ4
酒大さじ5
水1/4カップ

《栄養価 1人分》

エネルギー	184kcal
蛋白質	7.2g
カルシウム	441mg
マグネシウム	852mg
塩分	2.9g



作り方

- ①桜海老は洗ってザルにあげ水をきる
- ②鍋に調味料を入れ煮立ったら①を入れる
- ③豆腐を大きめに切り②に加え中火で煮込む
- ④火からおろし4cmに切った葉ねぎを加え、ひと煮立ちしたら出来上がり

栄養士 満口 智子

精神科の医療について

総合病院精神科の危機的状況について

昨今の「医療崩壊」と呼ばれる現象は、総合病院精神科において顕著となっています。総合病院精神科は、総合病院基礎調査によると2002年度は272施設、21,732床でしたが、2008年度は239施設、17,319床へと減少しており、精神科病床数は2002年度と比較して約8割に減少しています。その間、総合病院精神科病棟が閉鎖・縮小となったり、精神科そのものが総合病院からなくなったりしており、危機的状況にさらされていると言っても過言ではありません。

当院精神科の沿革

開設42年の歴史をもつ当院精神科は、これまで地域医療を中心に、精神科救急と身体合併症治療を重点的に行ってまいりました。そして、本年度から新たに当院が認知症疾患医療センターの指定を受ける予定です。これにより精神科もその一翼を担うこととなります。

総合病院精神科の役割

- ①精神疾患の急性期症状（幻覚・妄想・興奮・減裂など）に対応します（精神科救急医療）
- ②精神疾患と身体疾患を併せもつ患者さんに対する治療をします（身体合併症医療）
- ③救命救急医療と連携して精神医療を行います
- ④うつ病や摂食障害などの入院治療を行います
- ⑤手術後や高齢者に起こりやすい「せん妄」や身体疾患に合併する「うつ状態」の治療をします
- ⑥重症うつ病や摂食障害などの入院治療を行います
- ⑦治療終了後は、ご希望に応じてメンタルクリニックをご紹介します

展望

精神症状のために身体疾患の治療が十分に行えない患者さんには、それ相応の設備と人員が必要となります。この度、精神・身体ともに重篤な患者さんにも対応できるよう20床の身体合併症ユニットを完備しました。安心してご利用いただければ幸いです。

精神科 部長
森本 修三

合併症ユニット



新任医師紹介

皮膚科
石部 純一
(宮崎大 2009年卒)



第40回
聖隷三方原病院
病院学会写真
コンクール

優秀賞
「なんだ?なんだ!」
北山 末子 様



編集後記

新年度を迎え、多くの新入職員が聖隷三方原病院の仲間に加わりました。迎える私たちも初心忘れるべからずで、入社当時の謙虚で新鮮な気持ちや心構えを忘れないようにしようと改めて思っています。

発行責任者：総合病院 聖隷三方原病院 病院長 荻野 和功
〒433-8558 浜松市北区三方原町 3453
TEL 053-436-1251 (代) / FAX 053-438-2971
<http://www.seirei.or.jp/mikatahara/>